

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

上場会社名 株式会社 安楽亭

(URL <http://www.anrakutei.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 柳 時機

責任者役職・氏名 経理部次長 長木 聖治

平成15年7月25日
(コード番号:7562 東証第二部)

(TEL:(048)-859-0555)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有・**無**

2. 平成16年3月期 第1四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1)売上高 (単位:百万円未満切捨)

	平成16年3月期第1四半期 (当第1四半期)	対前年同 四半期増減率	平成15年3月期第1四半期 (前年同四半期)	参考 前期(通期)
売上高	百万円 8,308	%	百万円	百万円 33,883

(注)当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日) (単位:百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年3月期第1四半期	百万円 7,089	百万円 322	百万円 152	百万円 77
(前年同四半期)	6,332	139	64	31

(参考2) 売上高季節変動指数

売上高の対象は安楽亭直営店、97~00年度 既存店売上高をベースに算出しております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
季節指数	97.8	100.3	93.3	113.6	120.7	91.6	91.3	90.3	104.5	103.5	90.7	102.4	100.0

(2)販売実績

当第1四半期の販売実績をセグメント別ごとに示すと、次のとおりであります。

(単位:百万円未満切捨)

事業の種類別セグメント の名称	平成16年3月期第1四半期 (当第1四半期)		参考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
レストラン事業	百万円	%	百万円	%
店舗売上	6,976	84.0	28,671	84.6
食材売上	56	0.7	276	0.8
ロイヤリティ収入	22	0.3	98	0.3
その他	33	0.4	64	0.2
小計	7,089	85.4	29,110	85.9
書籍販売事業	601	7.2	2,369	7.0
食材加工販売事業	128	1.5	610	1.8
酒・タバコ販売事業	76	0.9	217	0.6
食品・酒類卸販売事業	358	4.3	1,444	4.3
その他	54	0.7	130	0.4
合計	8,308	100.0	33,883	100.0

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 上記金額には消費税等は含まれておりません。

3 レストラン事業の店舗売上とは、直営店舗における売上であり、食材売上とは、暖簾・FC店舗に対する食材の提供の卸売上であり、その他の売上は、タバコの売上であります。

また、その他売上は、運送事業、不動産賃貸業、ソフトウェア開発業の売上であります。

[売上高(又はこれに相当する事項)に関する補足説明]

当第1四半期(平成15年4月1日～平成15年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益に改善がみられるものの、個人消費や設備投資は引き続き低調な状態で推移し、回復の足取りも重く、また完全失業率も依然として高水準であるなど、景気は総じて厳しい状況が続きました。

外食産業におきましてもデフレそして個人消費の低迷などで、既存店ベースでの売上高は前年のマイナスを記録しており、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、創業40周年記念キャンペーンを実施し、来店客数の増加を図る一方「安全で健康に配慮した食材」を使って、「心のこもった調理と思いやりのあるサービス」を実践してまいりました。当社グループのコア事業である焼肉事業「安楽亭」においては、人気アニメキャラクターを起用するなど販売促進の諸施策を実施し、また既存店の活性化を目的としてリニューアルも積極的に推進いたしました。これにより売上高は前年対比で4月112.9%(既存店110.4%)、5月111.7%(既存店105.1%)、6月111.3%(既存店105.3%)となっております。

その結果、当第1四半期の連結売上高は8,308百万円となりました。

(3)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

(注)当該四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	
中間期	17,700	660	420	20円36銭
通期	35,500	1,200	600	29円48銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期の業績は概ね当初予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。なお、当社グループは、デフレ経済下への対応策として連結有利子負債の一層の圧縮を図っており、資産売却による特別利益および特別損失の発生により業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定です。

(注)上記の業績予想は発表日現在における将来の見通し、計画の前提となる予測が含まれております。実際の業績は、今後の様々な不確定要因によって記載の数値と異なる可能性があります。

以上